

資料1

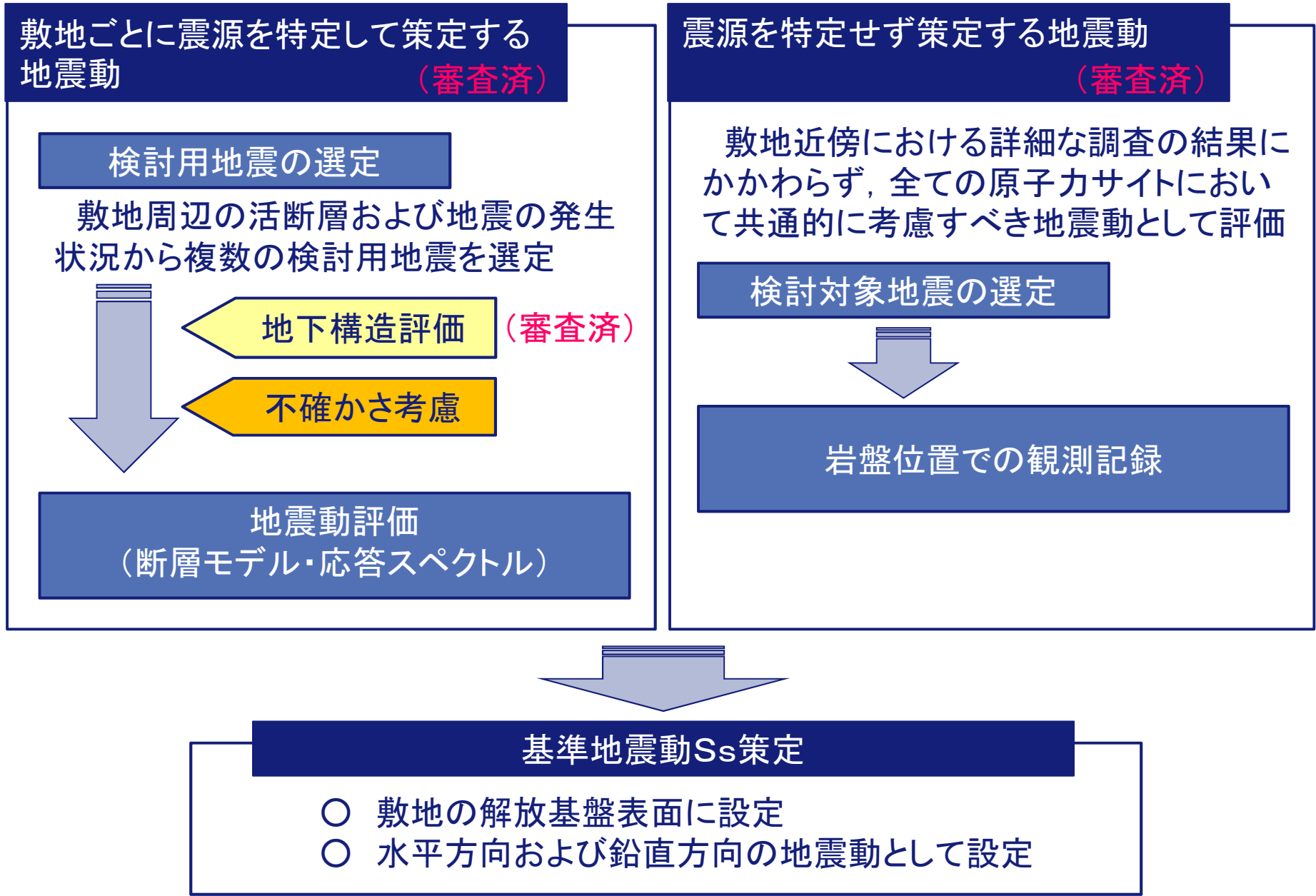
# 島根原子力発電所 基準地震動S<sub>s</sub>の策定について

---

平成30年2月21日  
中国電力株式会社

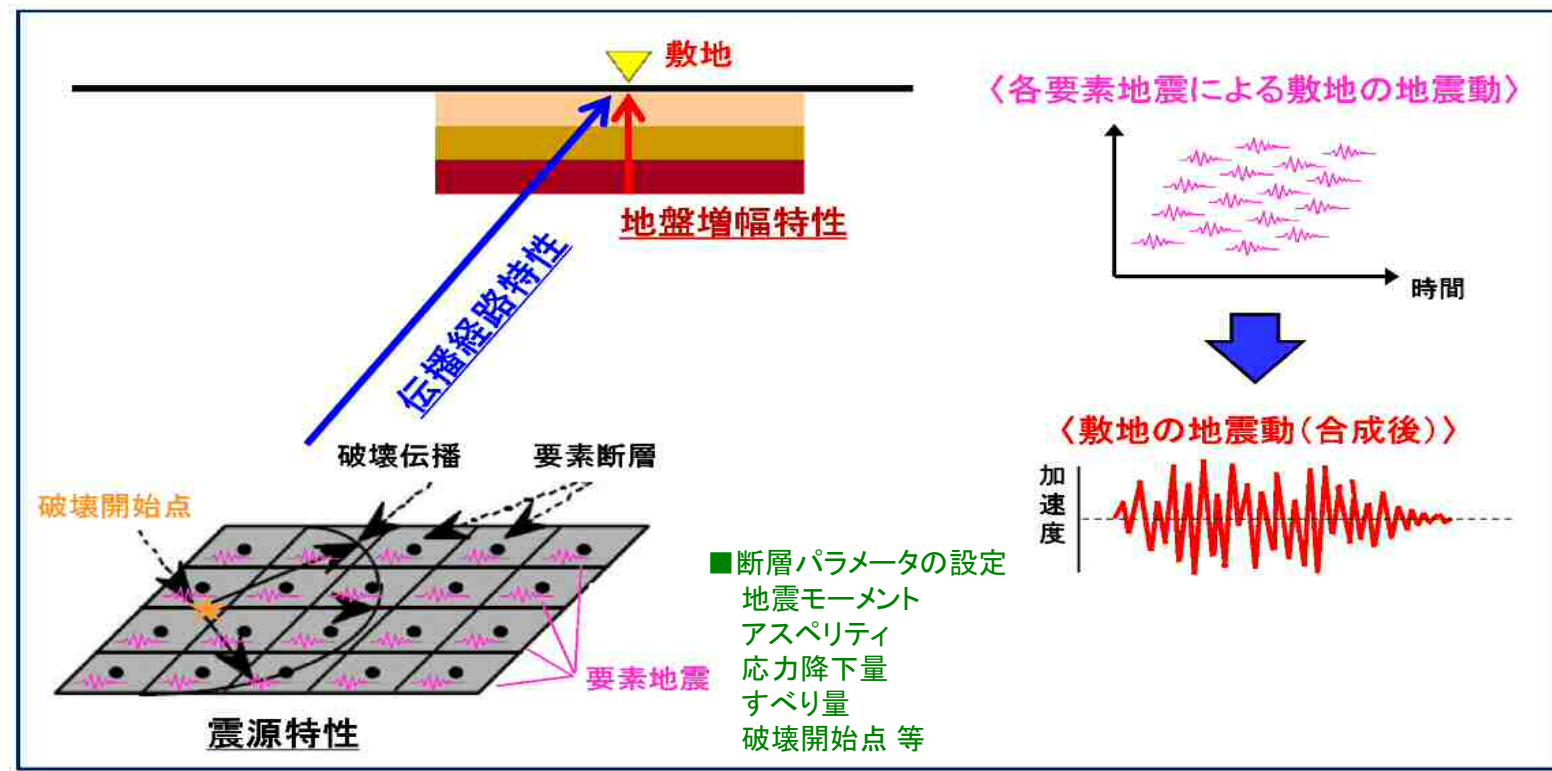
**Energia**

# 基準地震動Ssの策定フロー



# 断層モデルを用いた手法による地震動評価

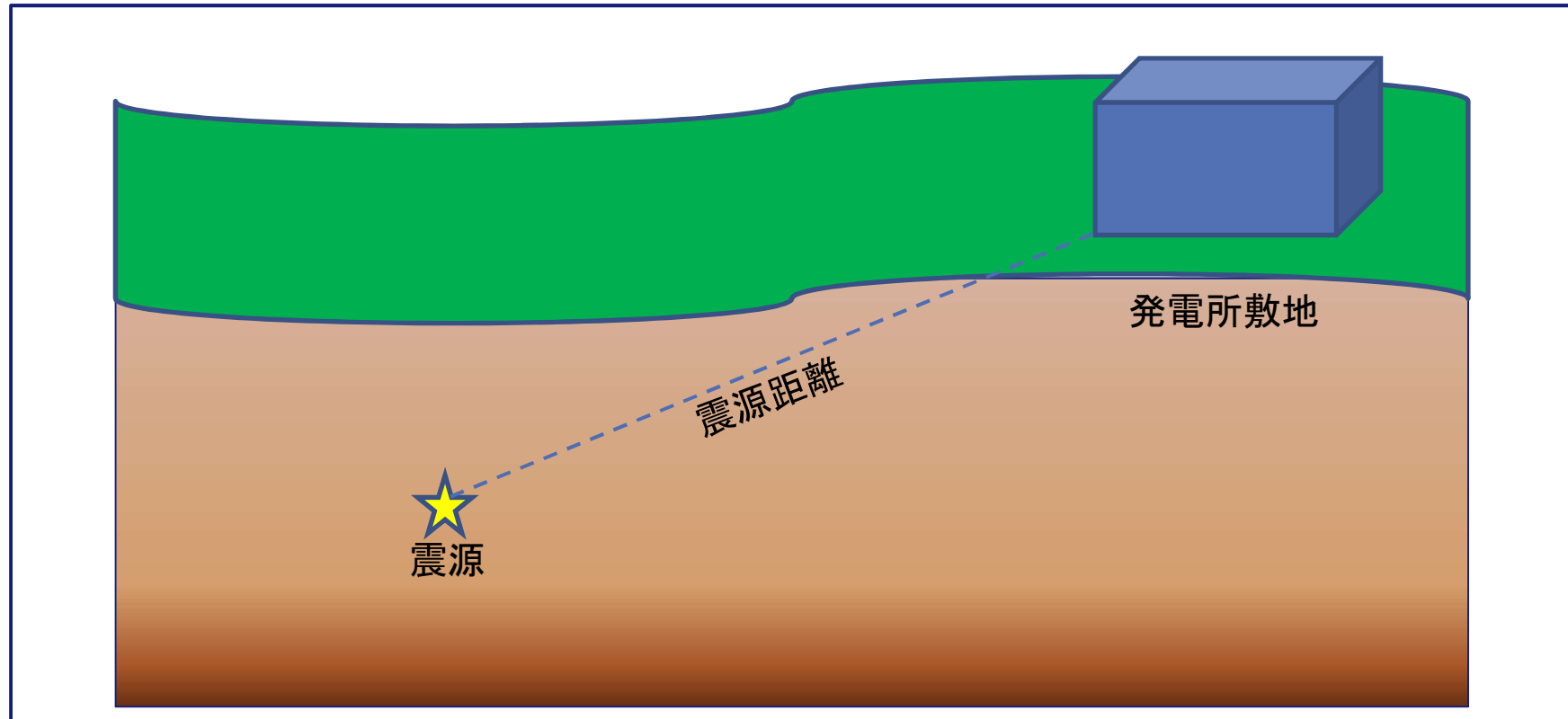
- 断層モデルを用いた手法は、断層を面として捉え、それを細かく分割し、それぞれの領域から発生する地震(要素地震)の波を合成することで、発電所敷地における揺れを評価。  
(震源の面的な広がりを考慮する手法)



断層モデルを用いた手法による地震動評価の概念図

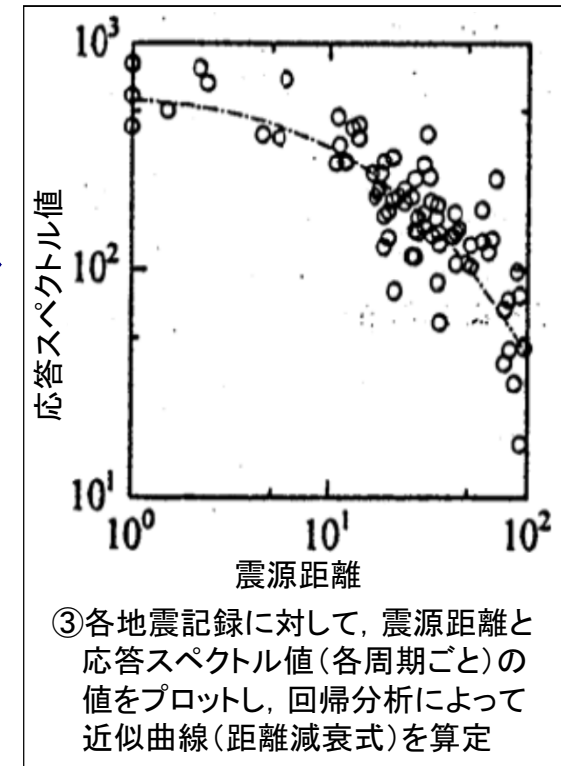
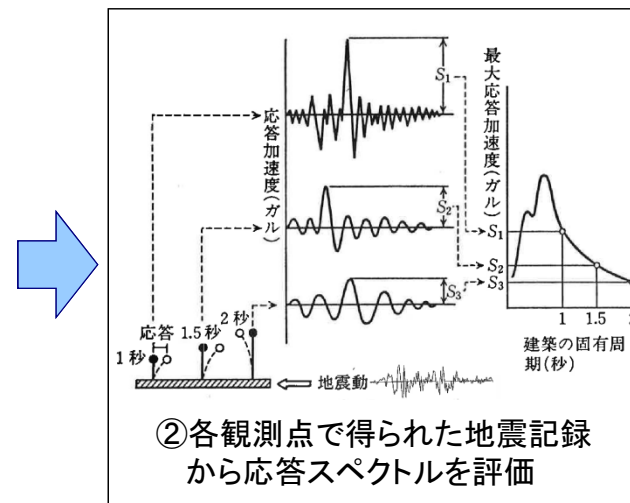
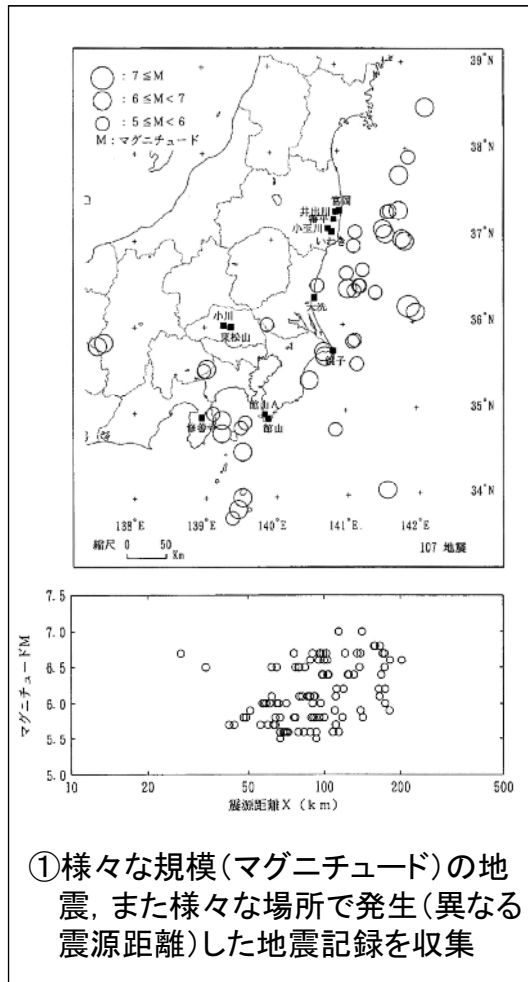
## 応答スペクトルに基づく地震動評価

- 応答スペクトルによる手法は、地震のマグニチュードと震源距離等に基づき、発電所敷地における揺れを評価。(震源を点と仮定して評価する経験的手法)



# 応答スペクトルに基づく地震動評価(参考)

- 応答スペクトルに基づく地震動評価に用いられる距離減衰式の概要を以下に示す。



$$\log S_a = aM + bX + c$$

- ④ 作成された距離減衰式の一例

- ・マグニチュード(M)と震源距離(X)により応答スペクトル値( $S_a$ )を算定
- ・a, b, cはそれぞれ回帰分析により求められる係数